

アドレス <http://www.kioicho-rc.jp>

東京紀尾井町ロータリークラブ

KIOICHO WEEKLY Vol.29-16 No.1280 2020.11.5

国際ロータリー会長 HOLGER KNAACK
ホルガー クナーク

Rotary Opens Opportunities

テーマ ロータリーは機会の扉を開く

*例会日 木曜日 12:30

*事務所 102-0083 東京都千代田区麹町3-5

*例会場 ホテル ニュー オータニ

得水ビル2階202号

*創立 1992年9月17日(平成4年)

電話 東京03(3265)8597番

*会長 大竹章裕 幹事 坂田生子

FAX 東京03(3262)5279番

*会報雑誌委員会 委員長/森田建二 副委員長/佐藤香織・吉岡幸志 委員/今井千晶、熊川貴昭、馬淵知子、山口妙子

10月29日 第15回例会(通算1279回)

会場: 麗の間

1. 出席者 会員 55名
Zoom参加者 1名
ゲスト 2名
(卓話者 吉田雅俊様他1名)
ビジター 3名 計60名

司会 小泉 始会員

2. 開会の辞・点鐘 大竹章裕会長

3. 黙祷

今井宗陽会員のご逝去を悼み、黙祷致します。

4. ビジター紹介 河合由里子会員

5. 会長挨拶 大竹章裕会長

先日今井さんの葬儀で暑いかと用心しつつ裕を着ましたが、ちょうど良い季候でした。まもなく寒さが始まります、皆様ご用心ください。

今日は今井さんの訃報というまことに悲しいお知らせから挨拶を始めねばならず、残念でなりません。亡くなる3日前の14日水曜日、新ばし料亭・米村で小唄の会にご一緒し、舞扇と春霞という二曲を芸者衆の踊りを着けて唄われました。それはそれは楽しそうで、あの恵比寿さんのような顔をほころばせて大層幸せそうだったことを思い出します。

そのくせ、私が唄ったときにはご自分を棚に上げ、「大竹さんは本当に楽しそうに唄うねえ」と仰るので。それが私にとって遺言になってしまいました。

親子ほど年の違う今井さんと何やら心が通じるように思えるのも、毎週毎週会っていることが理由と思います。改めてロータリークラブの存在のありがたみを感じました。

さて本日は吉田雅俊パストガバナーをお迎えしてRI財団のお話を頂きます。吉田さんは長唄もたしなまされると耳にしています。粹筋で姿をお見かけしたこともあり、私にとっては内々敬愛する先達です。なくなった今井さんいつか吉田さんとお座敷でご一緒したいと仰っていました。

そんな粹なお顔を持つ吉田さんの財団への切り口を楽しみにしています。

では今日も幸せいっぱいに参加しましょう。ビーハッピー！以上で会長挨拶を終わります。



11/5 第16回例会

麗の間

11/12 第17回例会予告

麗の間

「いにしえスピーチと私の職業奉仕」

「人を幸せに導くアニマルセラピー」

垣見裕司会員

NPO アニマルセラピー協会・アニマルセラピスト師範

大村 敬様

・ 10 月誕生祝品贈呈

林ひろみ君(4日)、江藤昭子君(8日)、河合由里子君(13日)、岡垣栄治君(13日)、中瀬賀暁君(14日)
手島京子君(18日)、山口妙子君(19日)、目代純平君(28日) 計8名

・ 第 2580 地区親善ゴルフ大会中央分区予選会 入賞者表彰

齊藤 学君(優勝)、宗田裕司君(85位)、前原秀一君(95位)



6. 幹事報告 坂田生子幹事

- ①週報2部(10/15、10/22分)、米山豆辞典、会員名簿2名分(今井千晶さん→会社住所変更、宇田川耀平さん、)組織表(訂正。今年度は、定款・細則委員会を設置致しましたので、付け加えました。)以上、配布致します。
- ②次週(11/5)例会終了後、第5回定例理事会を開催致します。役員・理事の方はご出席願います。

7. 委員会報告

1. 会員増強委員会 道端慶二郎委員長

昨日、高橋会員のお店のテラスを借りまして、会員12名、ゲスト7名で会員増強の説明会及び食事を開催させて頂きました。皆様、非常に楽しんで頂き「入会する」という雰囲気ゲストの方達がなっていましたので、このような形で会員が全員で会員増強に力を合わせてやるという企画は非常に良いと言う風に思いました。申し込み用紙をお渡し致しましたので、回収は1週間位掛かるかと思いますが、7分の幾つかになるか、楽しみです。来年の2月頭位にも開催したいと思っておりますので、皆様、今から、誰を連れて行くのか準備をしながらお待ち頂ければと思います。

2. ワイン愛好会 井浪喬之会員

長らくコロナで活動を休止しておりましたが、次週11/6のワイン会から活動を再開致します。本日迄申し込み受付しております。11月はワインの季節でございます、ボージョレ・ヌーヴォーは皆様ご存知だと思いますが、今回はイタリアの新酒ノヴェッロを皆様に楽しんで頂ければと思っております。イタリアは非常に様々なワインが作られておりますので、代表する特徴あるワインを幾つかご用意してありますので皆様奮ってのご参加をお待ちしております。宜しくお願い致します。

8. ニコニコボックス発表 林ひろみ会員

9. 卓話 紹介者 渡邊藍子ロータリー財団委員長

皆様こんにちは。本日は地区ロータリー財団委員長・吉田雅俊様にお越し頂きました。ロータリー財団の活動と現状について、詳しくお話して頂くことになっております。内容が盛り沢山だそうですので、どうぞよろしくお願い致します。

「ロータリー財団について」 地区ロータリー財団委員長 吉田雅俊様

皆様こんにちは。来月がロータリー財団月間です。その為に資料を作りまして、各クラブにお送りし私は卓話をしないで済むようにしたつもりでいたのですが、紀尾井町RCさんより卓話のお話を頂きまして、何といたっても紀尾井町さんですから、御断りする訳にはいかないという事で(他は御断りしたのですが)・・・。そういう事なので、全然、練習もしておりませんので、途中、話がうまく出来ないところが有るかも知れませんが、その辺はお許し頂きたいと思います。

先ず、来る前に貴クラブの事をちょっと調べて見ました。女性会員21名含めて8月現在で74名。この74名と言うのは、東京RC、東京北RCに次ぎ、当地区では3番目に大きなクラブという事で、私がガバナーの時には確か私のクラブ(東京新都心RC)と同じ位の人数だったかなと思うのですが、あつという間に抜かれてしまった様な気が致します。女性会員21名と言うのは、当地区ではN01でございます、2位が東京ワセダRC13名、3位が宜野湾RC12名となっております。女性会員も大変活躍されているという事なので、ぜひ、これから地区の方に女性会員が出て来て頂きたいと願っております。現在、当地区では20名以下のクラブが10クラブございます。ですから、そういうクラブにはぜひ、紀尾井町クラブをメイクアップして、色々な事を勉強して頂いたらよろしいかなと言う風に思っております。又、ここのところ増員しているクラブと言うのは紀尾井町クラブが何といたってもN01ですが、あと、那覇RC、東京福生RCという事でございます。又、財団の方にも大変ご協力頂いております、平均で前年度は291ドル。4種類に寄付実績がございまして、



これも素晴らしい結果だと思います。又、Every Rotarian Every Year の基準も達成されておりますので、地区大会で表彰されることになっておりますので、宜しくお願ひしたいと思っております。ポールハリスソサエティ1名。西岡孝志さんですね。ポールハリスソサエティは、年間1000ドルを継続してご寄付頂く寄付の種類です。こちらの方も今後は、貴クラブより10名位だして頂ければと思っております。

本日は、地区の委員会の方で各クラブの財団委員長宛に資料を作成致しましたので、それを使わせて頂いて簡単にお話させていただきます。又、アーチ・クラフトについて、皆様、お名前は聞いた事が有るかと思いますが、どんな人で、どんな事をやったかという事を改めてご紹介させて頂くという事にさせていただきます。

まず、順番が逆になりますが、**アーチ・クラフト**とはどういう人か？

アーチ・クラフトは、ペンシルバニア州コネチカットで1869年6月6日に生まれました。オハイオ州クリーブランドで、彼の人生の大部分を過ごしました。彼の母親は有名なアメリカの小説家ジェームズ・クーパーの子孫で、父親の先祖は、1771年にニューヨークに定住しました。アーチは12歳のときに一家の暮らしを助けるために学校を退学したので、ほとんどが独学でした。彼はクリーブランド設けられた夜学に通うことによって、学力の不足を補いました。

18歳でクリーブランドのキューヤホガ製材所の雑用係の職につきましたが、すぐに昇進して、最終的には会社の会長、総支配人そして経営者になりました。また、彼は製箱会社や銀行の社長や、不動産業と汽船会社の副会長を務めました。彼はクリーブランドに留まらずオハイオ州における実業界と地域社会双方の組織でも活動し、法的な件に関する建設業者のスポークスマンの役割を果たしました。

彼の芸術的センスは素晴らしく、優れたフルート奏者として、クリーブランド・シンホニー・オーケストラで14年間も演奏する傍ら、マネージャとして活躍しました。また、彼はスポーツでも活動的でした。ロータリーにおいては、偉大なロータリー財団になる基礎を作ったアーチ・クラフトとして、最も大きな貢献をしました。1917年に、カンザスシティ・ロータリークラブからの26ドル50セントの寄付金から始めた財団基金は、今日何億ドルもの基金に成長して、外国に行つて自らが選択した学問を追求する機会を全世界の学生に提供しています。

また、アーチは地区組織を構成する基礎となる、標準ロータリークラブ定款と細則の制定に関わりました。1914年、クリーブランド・ロータリークラブに入会して3年後に、アーチ・クラフトは国際ロータリークラブ連合会の理事になり、1916年には会長に選出されました。1951年6月3日に逝去しました。

(炉辺談話(403) 歴代RI会長のプロフィール 2)より

次にアーチ・クラフトが設立した財団の話をご紹介します。

今から約100年間の1917年に、当時のRI会長が“世界で何か良いことをしよう”と呼び掛けてロータリー財団が創設されました。ポール・ハリスがロータリーをはじめた12年後のことです。当時は第一次世界大戦の最中でありましたが、大きな器で世界に奉仕することを考えていたアーチ・クラフトに敬意を憶えます。**財団の活動は、ポリオ根絶、ロータリー平和フェローシップ、補助金の3つ**です。

ロータリー財団の2017-18年度と2018-19年度の収支報告です。

前年度2019-20の報告を今回の資料に含めたかったのですが、現時点までに本部から発表されておりません。2018-19年度の寄付総額は3億2,190万ドルです。120万人が協力すると、大きな金額になります。2018-19年度の支出総額は3億3500万ドルです。

財団は、チャリティ・ナビゲーターから12年連続で4つ星評価を受けています。チャリティ・ナビゲーターは、アメリカ国内の慈善団体の格付けを行う機関です。この評価は、寄付金が効果的にプログラムに活用され、健全なガバナンスが保たれているとお墨付きをもらっているということです。英語版にはありませんが、ウェブサイトでは会計報告を閲覧することもできますし、隠さない、オープンな運営ということではできると思います。

ロータリー財団への寄付は投資に回されます。ロータリーの投資担当部は、ロータリー財団管理委員会と国際ロータリー理事会が定めた方針に基づいて、責任をもってロータリーの投資を管理しています。スライドは年次基金の収益率です。

年次基金は、ロータリー財団プログラムと重点分野を支える主な資金源です。年次基金への寄付は、3年間投資され、その投資収益が財団運営費に充てられます。

年次基金の投資目標に達するため、ポートフォリオは資本増価よりも収益を強調した投資となっています。年次基金ポートフォリオの100%が確定利付債に投資されています。

2019会計年度の年次基金の収益率は2.8%でした。過去5年間、年次基金は年間平均3.2%の収益を生み出し、4億2100万ドルから4億3300万ドルに成長しました。この収益はキャピタルゲイン、利子、配当金の合計です。

恒久基金の目的は、恒久的かつ持続可能な資金源を提供することです。恒久基金への寄付は、恒久的に投資され、その収益は財団プログラムを支えるための恒久的な資金源を確保するために活用されています。このため、確定利付投資よりも高い収益をもたらす可能性のある株式寄りの投資が行われています。よって、恒久基金ポートフォリオの約85%は、高い収益を生み出すと期待される資産をターゲットとしています。2018-19年度の恒久基金の収益率は4.7%でした。

過去5年間に恒久基金は3億3600万ドルから4億8100万ドルに成長し、年間平均5.0%の収益を生み出しました。

ちなみに**ポリオプラス基金**も投資にまわされますが、ポリオ撲滅活動のために寄付元金を守り、維持する必要があるため、常に、確定利付証券のみに投資されています。

今回触れた財務情報は国際ロータリーのウェブサイトで開催されています。

続いて、**ポリオ根絶活動**について説明いたします。

ポリオの正式名称は「急性灰白髄炎（きゅうせい・かいはいく・づいえん）」、一般に「小児まひ」とも呼ばれます。ポリオは感染した人の排せつ物で汚染された飲用水や食品を通じて広まる腸内ウイルスです。感染者の腸でウイルスが増殖し、下水のインフラがないようなエリアで、手や指を介して口からウイルスが侵入し、主に子どもが感染します。

しかし、ウイルスが体内で生きられるのは1か月程度ですし、体外で生きられるのは2週間だけなので、感染の連鎖を断ち切れればウイルスを根絶させること考えられています。

ロータリーは1985年からポリオの根絶を目指し、今まで20億ドル以上の資金を投入してきました。

今年は嬉しいニュースがありました。ナイジェリアが流行国から外されました。

そして世界保健機関（WHO）は8月25日に、WHO アフリカ地域の全47カ国において野生型ポリオウイルスの伝播が正式に断ち切られたことを発表しました。アフリカでのポリオ根絶が宣言されたということです。これは、ロータリーが最優先事項として掲げてきたポリオの世界的根絶に向けた、歴史的かつ重要な前進となります。

世界で大流行したポリオですが、2019年は2カ国で176人だけから野生型ウイルスによる発症が確認されました。2020年は10月29日までに121人の発症が確認されています。

これだけ聞くともう日本には関係ないことのように思う方がいますが、日本を含めたポリオフリーの国でも、今でも子どもたちへのポリオの予防接種を継続され、税金が使われています。

2019-20年度地区ポリオプラス委員長が、2018年3月にインドのワクチン全国一斉投与活動に参加してきたそうです。その方が参加したブースだけでも1日で5歳以下の子ども、300人以上にワクチンを投与したと話していました。翌日は保健師と共に各家庭を個別訪問しワクチンの投与を行ったそうですが、全ての建物や家々に驚くほどたくさんのお子さんが住んでおり、ワクチンがいくらあっても足りないと感じたとおっしゃっていました。保健所や病院での感染症の予防接種が定着しているのは、一部の近代国家だけです。この棒グラフは発症数が減少していることを示していますが、ワクチン投与活動を怠れば、いつまたどこかの地域で流行するとも限りませんので、この地球上からポリオが根絶されるまで支援する必要があります。

もうひとつ、2580地区のロータリアンが忘れてはならないことがあります。

それはこのポリオ根絶活動をロータリー財団の事業として取り上げさせたのが、日本人のロータリアン、それも東京麹町RCの会員であった山田ツネ氏であったということです。

命をかけて献身された偉大な先輩の存在を、いつまでも記憶に留めていただきたいと願います。

ポリオには、特効薬などの確実な治療法はないため、義手や義足を製作し少しでも生活が楽になるように支援をするしかありません。ポリオは予防することが一番有効な手段です。そのためにはロータリーや協力団体からの継続的な資金援助が求められています。地区のポリオプラス委員会が掲げている目標はひとり30ドルです。当クラブとしてもポリオ根絶までポリオプラス基金への寄付を募りたいと思います。ご協力をお願いいたします。

次に、**ロータリー平和フェロシップ**について説明いたします。

ロータリー平和フェロシップは、世界平和と開発の担い手となる人材を育てるための奨学金プログラムです。提携大学内に「ロータリー平和センター」を設け、そこで学ぶ方に奨学金を提供します。

7か所目としてウガンダのマケレレ大学に平和センターができました。

アフリカ出身者・居住者またはアフリカで仕事をした経験のある人を対象とし、平和と開発に関する理論、研究、実践を学ぶことのできるコースです。

平和センターは世界に7カ所しかありませんが、その内の1つが、なんと日本に、しかも東京（国際基督教大学 略してICU）にあります。

ICUの平和センターには毎年10名が来日し、2年間、平和と開発を研究し修士号取得を目指します。ICU周辺の地区がホストエリアとなり、各地区2名程度のカウンセラーをしています。スライドは、2580地区が以前担当していた16期生（2017-19）と17期生（2018-20）の卒業生の4名です。皆様のご寄付がここに写っている彼らの奨学金になり、学びや生活を支えてくださいました。

現在は昨年夏に来日した 18 期生（2019-21）が勉強中です。今年の夏から 19 期生（2020-22）が来日する予定でしたが、新型コロナウイルスの関係で来日が遅れております。

このプログラムは、2002 年に開始された比較的新しいものですが、創立から 10 年あまりで 1200 人以上の人材を輩出してきました。その多くは国連や世界銀行といった国際機関や、草の根の NGO でリーダーシップを発揮しています。

平和構築の分野で 3~5 年の経験がないと申請できません。かなり条件が厳しいですが、2019-20 年度は 100 名の枠に対して、700 名の申請が世界中からあったそうです。

4 月には、東ティモールで活動中の日本人男性からの国際電話で、2580 地区にも推薦希望の問い合わせがあったそうです。国際 NGO 団体でプロジェクトマネージャーとして農村地域の農業事業や女性の貧困対策支援に携わっている方とのこと。その方のように途上国での支援活動を経験している人を、平和センターでより強化して、途上国で更なる貢献をするというのがこのプログラムの目指すところです。

補助金に関して説明いたします。

補助金は、当地区の会員の皆様が、財団に寄付したものが原資です。3 年前の寄付の約半分を地区が使うことができます。補助金は「地区補助金」と「グローバル補助金」の 2 種類ございます。どちらも「人道的プロジェクト」と「奨学金」に使うことができます。

奨学生は、地区ロータリー財団委員会が募集や選考を行いますので、各クラブでは人道的プロジェクトの計画と実施が期待されています。

2 つの補助金の基本的な条件を説明します。グローバル補助金は、実施国と援助国のロータリーが共同で実施し、総額 3 万ドル以上、ロータリーの 7 つの重点分野に該当する活動でなくてはなりません。日本のクラブが途上国のクラブを支援するケースが多く見受けられますが、先方にまかせっきりの、いわゆる便乗でないように注意が必要です。

ロータリーの重点分野に「**環境の保全**」が加わることになりました。

「環境の保全」に関するグローバル補助金は、2021 年 7 月 1 日からロータリー財団本部への申請が可能となります。今年度は東京麹町 RC、東京ワセダ RC、東京荒川 RC の 3 クラブが、海外のロータリークラブとパートナーとなり、それぞれのグローバル補助金プロジェクトを進めていらっしゃいます。また東京セントラルパーク RC もタイのクラブとのグローバル補助金プロジェクトをロータリー財団本部に申請している

ところです。偶然ですが、4 件とも「**疾病予防と治療**」の重点分野の活動です。医療設備が日本のように整っていない国も世界には多いため、「**疾病予防と治療**」の重点分野は、グローバル補助金プロジェクトを計画しやすいようです。

グローバル補助金は、いつでも申請できます。面識のないクラブと組むのは現実的ではないので、皆様の中に海外のロータリアンとお知り合いの方がいらっしゃればぜひご紹介いただき、両クラブが交流することからはじめる必要があると思います。

他のクラブでは米山奨学生に協力してもらい、その方の出身国で活動をしたり、姉妹クラブの関係で計画を進めたりしているようです。

地区補助金は、1 年以内に完了する活動で、クラブ単独で実施できます。

名前のせいで、地区補助金は日本で行う社会奉仕活動、グローバル補助金は海外で行う国際奉仕活動、と勘違いされている方がいるようですが、違います。地区補助金でも国際奉仕活動はできます。

いきなりグローバル補助金で規模の大きい活動をするのは難しいと思いますので、まずは地区補助金を使って国際奉仕活動を試みませんか？その活動に際し、メンバーが現地を訪問すると思いますので、その機会に周辺クラブのロータリアンと会ってみて、うまくいくようなら翌年度に同じエリアでグローバル補助金プロジェクトをやるといのも一つの手だと思います。

地区補助金につきましては、支援基準と留意点を良く確認し、申請準備をする必要があります。内容は財団の使命に沿ったものでないといけません。財団の使命とは、「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、親善・平和を達成できるようにすること」です。地区補助金を使う活動としてふさわしくないものの例はスライドの通りです。これらの事項にあたりと支援は認められません。他団体の活動や、地域の少年野球等のイベントには補助金を使えません。支援を考えているエリアにどのような問題があり、他団体はどのような活動で支援をしているか知ることは重要です。しかし、安易にそれに乗っかるのではなく、問題解決の一助となるために、ロータリークラブとして独自の活動ができないかを考える必要があります。

他団体ができないことでも、ロータリークラブの信用、資金、人材、知恵、ネットワークがあればできることはあるはずですが、個人では思いもよらないこと、解決できると思えない問題でも、クラブの複数のメンバーが協力すれば、できることがあるかもしれません。皆様お忙しいかと存じますが、できる人ができることをやり、役割分担し、計画的に当クラブでも進めてまいりましょう。

次年度に実施する地区補助金プロジェクトが現在募集されています。申請期限は来年 1 月 29 日です。新型コロナウイルス関連の活動を優先的に支援するという地区の支援基準が設けられています。ぜひ我がクラブも計画をしましょう。地区補助金の支援額は、上限 60 万円かつ総額の 80% です。

つまり総額 75 万円の活動が、クラブ拠出金 15 万円だけで実施できるということです。補助金は私たちの寄付が原資です。しっかり寄付し、しっかり補助金を使うというのが理想です。どうぞよろしくお願いたします。次年度は新型コロナウイルス関連の活動に優先的に配分をする方針です。

ガバナー補佐が 13 人体制になり約 5 年で順番がまわってきますし、青少年交換来日学生のホストクラブも輪番なので約 5~6 年周期で依頼がされます。それらが 1 年度に重なるとクラブの負担が大きいので、5~10 年の中長期の計画が必要です。

周年式典では奉仕活動の報告をできればと思いますので、スライドの 5 年周期で奉仕活動を計画してみたいかがでしょうか？

寄付に関して説明いたします。前年度 2019-20 年度の当地区の寄付総額は 81 万ドルでした。

年次基金の割合が、2015 年は 86%でしたが、2019 年度は 63%となりました。

年次基金に集中しないよう 2016 年度から寄付のお願い方法を変更したことになり、寄付のバランスが良くなりました。ご協力いただきありがとうございます。

お一人 230 ドルを寄付目標額として掲げておりましたが、13 グループ中 8 グループが目標を達成いたしました。地区平均はお一人 270 ドルとなりました。

2580 地区では正会員の皆様から一人 230 ドルを、4 つの種類に指定いただくようお願いしています。これ以上できるクラブも、そうでないクラブもあるので、地区の寄付方針を目安として、各クラブが寄付目標額を設定します。当クラブの寄付目標は、お一人 230 ドルで、内訳は年次基金へ 150 ドル、ポリオプラス基金へ 30 ドル、恒久基金に 30 ドル、2580 地区の平和フェローシップ基金に 20 ドルです。

そして次年度の地区寄付方針はお一人 280 ドルとし、4 種への配分はスライドの通りとなっております。日本のロータリーの寄付は、まず公益財団法人ロータリー日本財団に入り、そこから本部に送られるので、個人、法人からのご寄付には税制上の優遇措置が受けられます。

最後にポール・ハリス・ソサエティという認証に関して説明します。

ポール・ハリス・ソサエティとは、ロータリー財団（年次基金かポリオプラス基金）に毎年 1,000 ドル以上寄付することを宣言なさったメンバーが認証されるものです。

当地区のポール・ハリス・ソサエティが 60 名になりました！日本には 9 月の時点で 998 名いらっしゃるようです。会長、幹事、ロータリー財団委員長、ガバナー補佐、地区委員、パストガバナーなどを中心になっていただいております。ぜひご検討ください。

ちなみに、ポール・ハリス・フェローには馴染みがあると思いますが、これは、年次基金とポリオプラス基金への寄付が累計 1,000 ドルに達した時にポール・ハリス・フェローになり、その後は寄付 1,000 ドル毎にマルチプル・ポール・ハリス・フェローのレベルが+1 から+8 まで上がっていきます。

メジャードナーというのは、全基金合計で、寄付累計が 1 万ドルに達した時に認証されます。

ポール・ハリス・ソサエティになると宣言くださった方が毎年 1,000 ドル寄付すると、10 年でメジャードナーになるということです。実際には入会してから今までにいくらかのご寄付をなさっていると思いますので、10 年待たずにメジャードナーになると思います。メジャードナーになると顕彰午餐会で RI 会長と写真を撮ったり、国際大会でメジャードナーだけが参加できる食事会の案内がもらえたりするそうです。以上です。ご清聴ありがとうございました。（地区ロータリー財団資料より）

10. 閉会の辞 大竹章裕会長

10/29 様 青木 宏義様（地区米山委員会副委員長・東京新都心 RC）
牛島 聡様（次年度ガバナー補佐・東京お茶の水 RC）
青木 隆幸様（次年度分区幹事・東京お茶の水 RC）

【にこにこボックス】 本日の合計 98,000 円（30 件） 累計 1,405,000 円（447 件）

吉田 雅俊君：卓話謝礼をニコニコへ（地区ロータリー財団委員長）	坂田 生子君：今井宗陽様、温かみのある笑顔ずっと忘れません。安らかにお眠り下さい。吉田様、今日は卓話宜しくお願いたします。
江口 英彦君：妻誕生日。	
小林 康和君：妻誕生日。	渡邊 藍子君：地区ロータリー財団委員長の吉田雅俊様、卓話楽しみにしております。宜しくお願致します。
大竹 章裕君：今井さんの逝去、心よりお悔やみ申し上げます。吉田パストガバナー、ようこそお越し下さいました。牛島さん、紀尾井町へようこそ！	

三村智恵子君：吉田パストガバナー、ロータリー財団の卓話楽しみです。よろしく願い致します。

渡邊 俊一君：吉田パストガバナー、本日の卓話宜しくお願いします。お茶の水RC牛島パスト会長、お越し頂き有難うございます。

森田 建二君：吉田パストガバナー、本日の卓話楽しみにしています。宜しくお願い致します。

手島 京子君：「ロータリー財団について」吉田雅俊様、本日の卓話楽しみにしております。

大西太一郎君：吉田パストガバナー、本日の卓話を楽しみにしております。

西脇 修君：吉田様、卓話有難うございます。

金田 康男君：今井会員の急逝、本当に悲しいです。もっと一緒に哥澤を唄いたかったし、お座敷遊びもしたかったのに、本当に残念です、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

中村 俊輔君：今井さんとの楽しい思い出が頭の中にわいています。座禅の先生だし、いつも激励してくれました。未だ整理出来ません。

石川ヒロ子君：今井宗陽さん、今生お会い出来た事を心より感謝致します。お優しい笑顔はいつまでも私達会員の心の中で輝いています。

【米山財団寄付】

金丸 精孝君：天高く馬肥ゆる秋。

谷井 玲君：今井さん、今迄有難うございました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

林 裕人君：今井宗陽さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

金井 繁晴君：今井さん、有難うございました。さようなら。

原田 尚彦君：今井様、ご冥福をお祈り申し上げます。

前原 秀一君：地区米山奨学委員会、青木様、ようこそいらっしやいました。（今井宗陽さんの訃報に接し、とても悲しいです。）

飯塚 保人君：新入会歓迎会、道端さん、高橋ゆきさん、お陰様で楽しい会でした。有難うございます。

吉野 次郎君：中瀬さん、先日は大変お世話になりました。有難うございました。

浅見 亨君：寸志。

茨田 浩之君：寸志。

橋本 吉弘君：寸志。

井上 行央君：寸志。

河合由里子君：寸志。

中瀬 賀暁君：寸志。

齊藤 学君：寸志。

宗田 裕司君：寸志。

吉田由美子君：寸志。

松島 寛君：寸志。

【哀悼】謹んで哀悼の意を表します。

今井宗陽会員 2020.10.18 逝去 享年76歳

1995年1月入会（入会以来皆出席）

2006-2007年度会長（第15代）

- ・マルチプルポールハリスフェロー、メジャードナー
- ・ベネファクター
- ・米山功労者メジャードナー
- ・青少年交換学生の受入（ホストファミリー）
- ・米山奨学生カウンセラー、
- ・RI財団国際親善派遣奨学生カウンセラー、
- ・SAA、親睦、会員増強、社会奉仕委員長を歴任）



2020.10.12 撮影

心よりご冥福をお祈り申し上げます